

# さいたま

Nursing

2019.11.29 NO. 121



## 災害に備える

### 台風19号による被害のお見舞い

台風の被害にあわれた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。被災された方々が、一日も早く平常の生活に戻る事ができますようお祈り申し上げます。

九都都市合同防災訓練(和光市)

### Contents

- 災害に備える P 2
- ✦ インタビュー・コラム ..... P 3
- ✦ 被災—その時を、地域の連携でのりきる... P 4～5
- ✦ 備える!EMIS (広域災害救急医療情報システム) 各種災害用伝言サービス ..... P 6
- ✦ 研修・企画のお知らせ、医療安全大会 ..... P 7
- ✦ 選挙管理委員会・推薦委員会からのお知らせ... P 8

会員数	25,499名
保健師	471名
助産師	938名
看護師	23,379名
准看護師	711名
対前年度比	999名増

(2019.9.30現在)



生きるを、ともに、つくる。

看護の力で

# 災害に備える

10月12日(土)に日本全土を襲った大型台風19号は、想定された以上の被害を各地にもたらし、全国31都道府県で被災した住宅は90,830戸に上り、多数の死傷者を出しました。

埼玉県内においても東松山、坂戸、川越などで特に甚大な被害があったのは報道のとおりです。被害が大きかった地域の病院では、保健センターや他院と連携しながら、避難所へ看護師の派遣を行うなどの活動がありました。

私たち看護職は自分が被災者となっても、県民・市民に寄り添って被災者支援を行う責務と志を持っています。その時に県内の看護職が、災害看護の共通認識をもち、共通言語で語る事ができれば大きな「守る・防ぐ・備える」力となるのではないのでしょうか。

日本看護協会は、大規模災害が発生した時の災害看護支援体制を整える仕組みとして「日本看護協会災害看護支援ネットワークシステム」を構築しました。以来、災害支援に関する研修や訓練を受けた「災害支援ナース」の被災地への派遣が可能になり、埼玉県においても災害支援ナース261名(2019.11現在登録者数)が活動しています。

## 災害看護の歴史

阪神・淡路大震災



東日本大震災



関東・東北豪雨



1995

阪神・淡路大震災

未曾有の都市型大災害を契機として、次の災害へ備えるべく、「災害看護」という学術分野が確立された

2000

有珠山噴火災害  
三宅島地震・噴火

2004

新潟県中越地震

2005

埼玉県看護協会  
災害支援ナース 登録開始

2007

新潟県中越沖地震  
災害支援ナース 派遣10名(埼玉県)

2011

東日本大震災  
災害支援ナース 派遣43名(埼玉県)

2015

関東・東北豪雨  
災害支援ナース 派遣59名(埼玉県)

2016

熊本地震  
災害支援ナース 派遣44名(埼玉県)

2018

西日本豪雨  
北海道胆振東部地震

熊本地震



北海道胆振東部地震



出典：災害写真データベース  
[http://www.saigaichousa-db-isad.jp/drsdb\\_photo/photoSearch.do](http://www.saigaichousa-db-isad.jp/drsdb_photo/photoSearch.do)

INTERVIEW

# 人命を助けることに繋げていく 災害支援ナースでありたい

埼玉県看護協会 災害看護対策委員会 委員長 **中島 誠**

川口市立医療センターの看護師であり、DMAT隊員、災害支援ナースでもある中島誠さんにお話を伺いました。

—災害医療はどんな現場で、求められることはどんなことですか？

医療に従事する者だけで活動することは不可能な現場です。地域コミュニティを強化しながら、様々な職種の人々と相互に関わり、各々の役割を連携していくことが重要になります。バックグラウンドが異なるメンバーと、同じ目的をもった共同体としてチームになることが求められます。

—DMAT隊員や災害支援ナースでなければ災害の場での活躍は難しいと考えますか？

DMAT隊員となることや、災害支援ナースとして登録することが、看護職として災害に備えるための一番大きなゴールということではありません。いざ災害の時になれば、全ての看護職がそれぞれの持ち場で対応することになります。その際に、災害看護に関する共通の認識をもって取り組むことができれば、災害対策の大きな力となります。そのために、災害看護について学んでみることは有効だと考えています。災害に備えたいという思いがある方には、一度研修を受けてみることをお勧めしたいと思います。

—中島さんは、実際に災害の現場で活躍されています。続けられるのは何があるからと感じますか？

災害の現場での自分の行動の是非については、その場でアウトカムが得られるわけではありません。対象者の方に何が必要なのか、どんな支援ができるのか、もっとできることがあるのではないか…その場で「チーム」となったメンバーと各々の判



断からくる意見を戦わせながらその時の最善をつくすことに専念しています。仲間と協働して困難を乗り越える、その濃密な時間に充実感を感じます。

—災害看護における今後の課題はどのようにとらえていますか？

震災関連死を減らすこと、その点においては看護職としてでき得ることはもっとあるのではないかと考えています。看護職が持つ様々なノウハウを活かす可能性を感じています。



災害看護対策委員会メンバー

—今後のめざす方向をお聞かせください

災害医療を経験すればするほど難しさを痛感します。発災直後は、何より人命救助が優先されるのは言うまでもありませんが、課題と感じているのはその後です。災害により人々の生活が破綻し、健康生活が脅かされる環境下で亡くなる命があります。看護を担うものとして最も防ぎ得ることのできる命が急性期以降にあり、破綻した生活環境を整え、ストレスを緩和しながら生命維持のために必要な呼吸・循環・代謝の安定を図る。そのことにより人命を助けることに繋げていく。それを担える災害支援ナースでありたいと考えています。

## コラム

災害看護は、言うまでもなく災害拠点病院だけの問題ではありません。

「その時」に看護の実践者として何ができるのか、常に考えて日常の業務にあたるのが肝要です。人が有事の際に実行できることは、平時に取り組んでいることに限られてきます。

常日頃から、部署、部門としてチームになることができているのか、自分の役割はチームの中のどの部分を担っているのか等を、多くの人が考えながら行動している組織が災害時に強いのは明白です。スタッフが管理者と現場の状況を共有しやすい風土や、管理者がスタッフに適切なフィードバックを行うことが自然にできる風土の醸成も「いざ、その時」への備えの一端となります。

また、他部署と協働体制を構築しておくことで、本来なすべき業務に専念することができます。災害対策を行うことは、組織の中における結束力を高めたり、組織の中で各部署間、あるいは人と人との連携がより強化されるきっかけにもなります。

台風による水害は限局的であり被害模様もまだらになりますが、これが関東一帯に影響する大地震であった場合、SOSを発信してもすぐに外からの支援を受けることが叶わない状況になります。もしもその時がきたら、今の職場であたはどのように行動するのか—ぜひ我が事として、今回の台風被害を踏まえた課題を検証し、防災・減災に備える取り組みを強化していただけたらと思います。

日本赤十字看護大学 講師 博士(災害看護) 池田 稔子 氏

# 被災—その時を、 地域の連携でのりきる

## 実例紹介

各地に甚大な被害をもたらした台風19号。中でも、床上浸水があった**指扇療養病院**（さいたま市西区）の実例を紹介する。平時から培っていた「顔の見える関係」が災害を乗り越える大きな力となっていた。



## CASE 指扇療養病院の場合

### DAY 10/12 病院内への浸水。予想外の事態へ

近くを流れる滝沼川の水門閉鎖による浸水は、とてつもない勢いで指扇療養病院を襲った。みるみるうちに一階のロビー部分は水に覆われ、スタッフが急ぎ紙おむつを階段中腹まで運んでいる間にも水位は上昇した。

10月12日24時一指扇療養病院の1階は汚水の逆流もあり、厨房、職員食堂、機械浴室、リハビリ室、職員更衣室、保育室などが使用不可となった。

台風前日に行われた対策会議では、懸案事項として優先順位が低かった「まさかの水害だった」という。



▲駐車場入口



▲西館1階ロビー

### DAY 10/13 地域の災害対応連絡会の支援

明けて13日。急遽参集した各部門スタッフによる災害対策会議には、さいたま市西部地域を中心に行われている「地域で考える災害への対応連絡会」で同席していた坪井医師（さいたま市民医療センター／DMAT隊員）の姿があった。自院の災害対策本部が一段階落ち着いたところで、普段連携している病院の被災状況の把握のために、自院のDMATメンバーとともに訪れていたのだ。坪井医師とそのメンバーは、指扇療養病院の現状評価をEMISに代行入力し、埼玉県災害医療コーディネーターに連絡して、病院の窮状を県の保健医療調整本部に知らせた。結果、電気、水が使えなかった指扇療養病院には簡易式使い捨てトイレが届くなど支援が開始された。

翌日、悪臭とほこりが立ち上ることで、患者・利用者・職員への影響が不安になった白井看護部長は、協会支部活動で面識を得ていた本会の専務理事宛にメールを送った。メールを受理した協会はただちに感染管理認定看護師を紹介し、問題解決と予防の対策がとられた。



◀食事を運ぶ  
打ち合わせ



食事の入ったコンテナを  
階段リレーで病棟へ▶

指扇療養病院では、時間を追うごとに各部署が積極的に協力の姿勢をみせ、患者・利用者のケアをバックアップしてくれたという。また、同じ法人である指扇病院との連携も大きな力となったと白井氏は語っている。

## 現場の声 Voice of the field

指扇療養病院  
看護部長  
白井光子氏

### 《地域に助けられ》

台風19号に際し、私たちの備えが万全だったとは言えません。多くの課題がみつかったと感じています。なにより、「困っていること」について声を上げたときに、すぐに支援をしてもらえたことは大きな発見でした。同じ西区にある病院と、普段から行き来のある看護協会からの支援が大きな力になりました。平時から地域で顔の見える関係を作っておくことの重要性を改めて感じました。今後に向けて備えることはいくつかありますが、中でも地域連携については一朝一夕でなるものではありませんので、意識的に取り組んでいきたいと考えています。

さいたま市民医療  
センター 医師  
坪井 謙氏

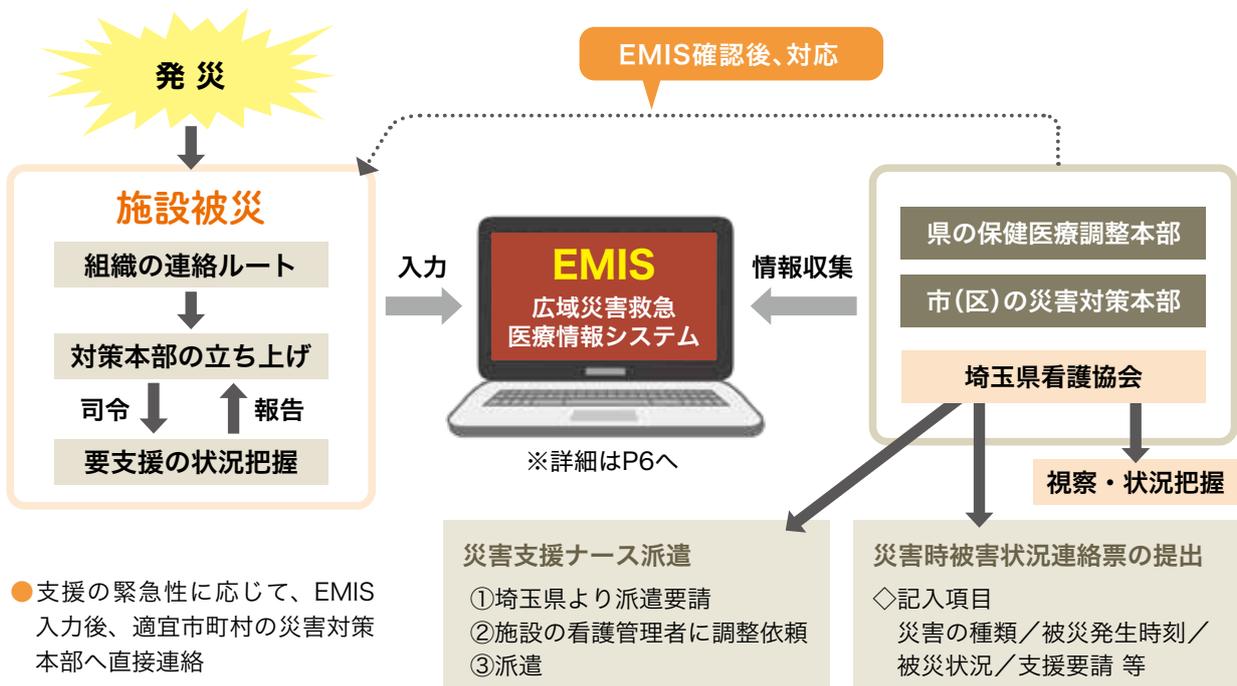
### 《普段から顔の見える関係をつくる》

指扇療養病院に様子を訊ねたのは、「地域で考える災害への対応連絡会」でいつも指扇病院と連携をとっている関係だからです。私が何かお役に立てたようであれば、平時から地域の中での連携がうまくいっている、顔の見える関係を築けていることが災害を乗り切るのに重要なかもしれません。

もしも自施設が被災したら、その時にはEMISへの入力が鍵となります。支援が必要な緊急入力・詳細入力に加えて、項目では伝えきれないことを「その他備考欄」に記入してください。そうすることで災害対策本部や保健所等の関係機関に状況が伝わります。

注目!

## 発災時、まずEMIS(イーミス)を入力!



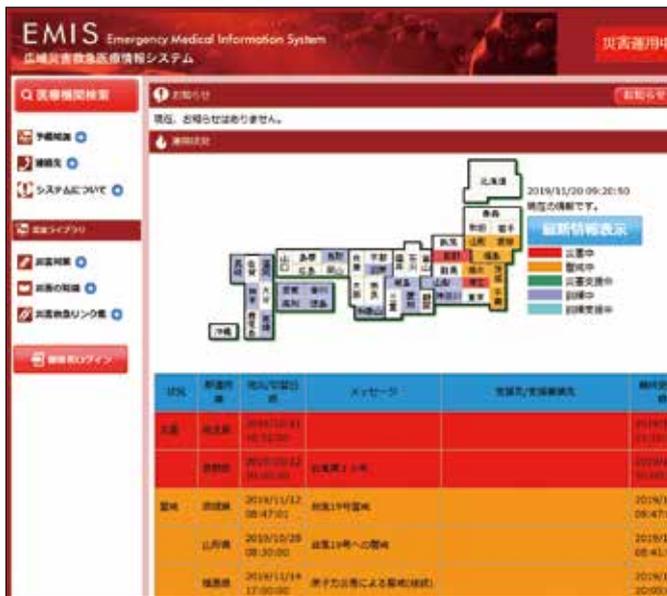
# 備える! 平時の確認や試行が災害時に命運をわけます

## イーミス EMIS (広域災害救急医療情報システム) Emergency Medical Information System

EMISは、災害時に医療救護活動に関する機関等が各医療機関の被災状況やDMATの活動状況等について情報共有するシステム。医療の需要が供給を大きく上回る災害時において、災害医療にかかわる情報を収集・提供し、被災地域での迅速かつ適切な医療・救護活動を支援することを目的としています。

■利用者・登録機関：県、市町村、病院、透析医療機関、消防、医師会、埼玉県看護協会(県内約480施設)

▼EMISホームページ



▼入力ページ



## 各種災害用伝言サービスの特徴

下記にあげた各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日等に体験利用ができます。

その他、スマートフォン向けの災害・緊急時連絡サービス向けのアプリなども多数あります。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。また、ご家族や施設で具体的にどのように利用するのか、そのために最適な緊急時の連絡方法は何かを話しあっておきましょう。

	171をダイヤル 	各社公式メニューや専用アプリから 	web171で検索 
登録可能番号	全ての番号 固定電話は市街局番から入力が必要	携帯の電話番号 登録時は自動的に登録され入力不要	全ての番号 携帯、PHS、IP電話の番号でも登録可能
保存期間	サービス終了時まで	サービス終了時まで	6か月
登録件数	1~20件 被災規模によって変動 〈登録時間〉30秒/件	キャリアによって変動あり 〈登録文字数〉100字/件	20件 携帯各社伝言板の伝言も一括検索 〈登録文字数〉100字/件

※サービスは通信会社の都合で変更することがあります。ご利用をご検討される際は必ずご確認ください。

# 守る・防ぐ・備える!!災害研修・メモリアル企画のお知らせ

## BHELP 研修

効果的な避難所活動を学ぶ

受付中

- ◆ 発災直後から避難所での活動を効果的、効率的に実践するための研修

### ～目標～

- 1 災害対応に関する共通言語と共通原則がわかる
- 2 自らの生命を守るための行動が想定できる
- 3 被災した住民の生命を守るための行動がわかる
- 4 住民の健康維持に配慮した避難所の設営と運営の留意点がわかる
- 5 要配慮者への体制整備(福祉避難所)の必要性がわかる

日時 2020年2月6日(木) 9:30～17:00

申込 サイトにアクセスしてお申し込みください  
<https://mcls.jp/dport/?evType=BHELP>

受講費 5,000円(当日受付にて徴収)

募集人数 36名(先着順)

会場 埼玉県看護協会研修センター(西大宮)

## 第4回 3.11メモリアル企画

### 《テーマ》

みんなで共に考える「いのち」と「くらし」  
～風水害への備え～

### 《特別講演》

「いのち」をつなぐ  
在宅を含めた医療ガス

### 《シンポジウム》

- 1 気象・防災知識
- 2 千葉県における長期停電
- 3 台風19号における、埼玉県の対応



日時 2020年3月11日(水) 10:00～16:00

申込期間 2020年1月6日～12日

受講費 会員：3,000円 非会員：9,000

会場 埼玉県看護協会研修センター(西大宮)

## 第13回 埼玉医療安全大会

開催日：2019年11月2日  
会場：大宮ソニックシティホール

今年度は779名の方にご参加いただき無事終了しましたこと、心よりお礼申し上げます。実践発表では、平成30年度医療安全管理者研修の修了者から4名の方に、施設での安全の取り組みについて、講演会では、「医療の良心を守る市民の会」代表の永井裕之氏をお迎えし、「医療事故に遭遇した遺族の思いと提言」というテーマでご講演いただきました。ご遺族の思いが鮮明に伝わり、身の引き締まるお話でした。

(医療安全推進委員会 委員長 三浦美智枝)

講演会で放映があった高山氏のVTR出演、看護師で事故の当事者(京大事案)は、適切な時期の謝罪と説明が大切になること。また、永井氏は被害者立場(都立広尾事案)から医療現場に対する期待を、報告文化・正直文化・安全文化の醸成、患者・家族に誠実に向き合うことと言われました。私たちは専門性・人間性・判断力・決断力を養い誠実な対応を求められていることに改めて気づかされるご講演であり、充実した時間となりました。

(広報委員)



令和2年度 改選役員、推薦委員及び  
令和3年度日本看護協会代議員、予備代議員への立候補・推薦について

選挙管理委員会からのお知らせ

令和2年6月20日(土)に開催される通常総会(会場:埼玉県看護協会研修センター)で、令和2年度改選役員、推薦委員及び令和3年度日本看護協会代議員、予備代議員の選挙を実施します。立候補される方は、正会員5人以上の推薦を受けて、立候補届出用紙を下記に郵送してください。

改選役員数と役職等

- 改選役員
 

副会長候補者	1名	地区理事候補者	2名
常務理事候補者	2名	監事候補者	2名(保健師、助産師)
職能理事候補者	2名(保健師・准看護師)		
- 推薦委員 9人
- 令和3年度日本看護協会代議員 25人 予備代議員 25人

立候補基準

- 役員 (任期2年)
  - 埼玉県看護協会の目的達成のための活動に積極的に任務を遂行できる人
  - 埼玉県看護協会の会員歴5年以上で、協会の役員又は委員としての活動経験を持ち、協会組織を理解している人
  - 埼玉県看護協会が定めた会議に出席できる人
- 推薦委員 (任期1年)
  - 埼玉県看護協会の目的に沿って組織を強化・発展させることができる人
  - 埼玉県看護協会の会員歴5年以上で、協会組織を理解している人
  - 埼玉県看護協会の実績をよく知り、定められた会議に出席し積極的に任務を遂行できる人
- 代議員・予備代議員 (任期1年)
  - 日本看護協会の理念・目的を理解し、1年間代議員としての責務を果たせる人
  - 埼玉県看護協会の会員歴5年以上で、協会組織を理解している人
  - 日本看護協会総会に出席できる人

受付期間など

立候補届出用紙は埼玉県看護協会にありますので、ご連絡ください。

【連絡先】埼玉県看護協会：☎048-624-3300  
 【送付先】〒331-0078 さいたま市西区西大宮3-3 埼玉県看護協会 選挙管理委員長宛 親展  
 【提出期限】令和2年2月7日(金)必着

推薦委員会からのお知らせ

令和2年度 改選役員、推薦委員及び令和3年度 日本看護協会代議員、予備代議員の候補者を推薦される場合は、正会員5人以上の推薦が必要です。推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議の上、候補者として推薦を確定させていただきます。

改選役員数と役職等

選挙管理委員会からのお知らせと同じ

推薦基準

選挙管理委員会からのお知らせの立候補基準と同じ

受付期間など

推薦書は埼玉県看護協会にありますので、ご連絡ください。

【連絡先】埼玉県看護協会：☎048-624-3300  
 【送付先】〒331-0078 さいたま市西区西大宮3-3 埼玉県看護協会 推薦委員長宛 親展  
 【提出期限】令和2年1月24日(金)必着

編集後記

広報委員会

台風の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2019年10月12日(土)に日本列島を襲った台風19号は関東地域に住む私たちにとって“災害に備える”その意識に変化を与えてくれたきっかけになりました。これまでは根拠のない安心感があったような気がします。災害に備えるとは何をどのように普段からの準備・行動が必要なのか。災害に遭遇してしまったらその時どう行動すべきなのか。

さいたま121号が皆様の災害に対する備えの一助になることを願い発行いたしました。また本号編集に際し、ご協力くださったみなさまに心より感謝申し上げます。

広報誌「さいたま」121号はいかがでしたか？アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。奮ってご参加ください。

- ◆応募締切:12/31(火)まで
- ◆抽選で30名様にクオカードをプレゼント

▼アンケート内容

- 1) 興味をひいた記事はありましたか？
- 2) 所属施設では、緊急時の連絡網の整備がすすんでいますか？また、緊急時の連絡用に使用しているツールがありましたらご記入ください
- 3) EMIS(広域災害救急医療情報システム)についてお答えください
- 4) 台風19号の対策において工夫されたことはありますか？職場、ご家庭での防災・被災時対策等、自由に記載してください
- 5) 本号へのご意見・ご感想をお寄せください



QUOカード  
500円分  
プレゼント!!



回答はこちら↓